

今年1月の12B新6年生セレクション、全日本12B予選、12B3年生大会、春季カップ戦を観る中で、かつて“ドリブルの南”と言われたことを懐かしく思い出さざるを得ない状況にあると感じています。

12B3年生大会で優勝したチームは、高速ドリブルで相手陣内を駆け抜ける中で、多様なフェイントを駆使する子が何人もいました。全員がワンタッチで蹴ることはなく、GKまでもがハーフラインを越えてドリブルで攻め込みます。

フリーキックも蹴らずに隣にいる子に足の裏でパスをして、受けた子がそこからドリブルです。自陣のペナルティエリア内でも蹴らずにドリブルです。

決勝リーグの1試合目、がら空きになったゴールに蹴りこまれて負けましたが、3試合とも同じスタイルを通し、2勝1敗で優勝です。

みんなとても楽しそうでした。かつての南の姿が、南のめざすサッカーの姿が目前にありました。

09・5・10 (日)
南NEWS NO 6

1年生から左右の足でのドリブルの徹底練習、ターン、左右の正確なキックを自分のものにしてもらう楽しい指導をぜひお願いします。それを基本に、自分のめざすサッカー、自分達がめざすサッカーの実現にGAMBAってほしいと思います。

文責 矢上

春季カップ 6年生の結果

2009年4月19日

会場 鹿島小学校 担当コーチ 小松コーチ 審判応援 三浦コーチ

南八王子 0-1 陶鎔元八

試合の目当ては、コミュニケーションをとる、アプローチを早くです。

前節同様意欲のこもった戦いとなりました。守備においてはコーチングの良い白石君を中心にサイドバックの小山君、榎本君が身を挺して頑張り、攻撃でも積極的にサイドを駆け上がりシュートまで行きました。



ミッドフィル

ダーの4人は諸井君、小紫君、四ノ宮君、矢嶋君が務めました。小紫君のセンタリング、矢嶋君の判断良いミドルシュートは惜しい得点チャンスでした。四ノ宮君も成長しました。首振りが出るようになり、矢嶋君の声かけに反応し、良いパス出しをしました。ボランチ諸井君の相手追いかけは良いアプローチの見本で、相手を自由にさせませんでした。コーナキックから今川君のヘディングシュートも惜しかったです。松浦君はオフサイドが多かったね、もっと周りを見て判断しよう。ゴールキーパー春日君も良く声が出るようになり、ファインセーブもありました。失点の1点はPKです。

今日の試合は自分達で考えた目当てをよく実行できた試合でした。

b y 小松コーチ

矢上先生 (c.c. コーチ各位)

春季カップですが、なんとか決勝進出です。

5/5は応援よろしく願いいたします。

少女 準優勝!!

春季カップ<リーグ戦> 5/3 (日) 由井三小> やったね!!

南八王子 対 八王子CBX 2-0 (前半1-0)

得点者 成井さん、片寄優さん

今年度初めての11人制サッカーで少し緊張があったのでしょうか。特に前半は相手の速いプレスに苦しんで思うようなサッカーがなかなかできませんでした。やっぱり周りが見れていない、声が出ていないことが苦戦の原因です。

田中さんのコーナーキックを成井さんが合わせた得点で少し楽になりますが、シュートミスが多く追加点を奪えず苦しい展開は変わりませんでした。試合終了間際に

ゴール前の混戦からしつこく詰めてボールをゴールに押し込んだ3年生片寄優さんの得点がありましたが、こうした気持ちと姿勢がとても大切なのです。みんなも見習おう!

南八王子 対 樺 3-2 (前半2-1)

得点者 片寄安さん (2)、成井さん

鋭いドリブルとテンポのよい樺の攻撃に苦戦しました。攻撃面では田中さんのコーナーキックをダイレクトボレーで決めた片寄安さんや、同点となった直後に片寄安さんのバックパスから30mのロングシュートを決めた成井さん、そして決勝点となった辻内栄さんから絶妙な右サイドの展開から片寄安さんの高速ドリブル突破&豪快なシュートは全部素晴らしいものでした。

ですが、この試合でよかったのは守備です。前半はマークの相手を決められず、またコミュニケーションの悪さからたくさんのピンチを作られてしまっていますが、後半は指示通り、小杉鈴さん、森さん、矢久保空さん、西條さんはしっかりマークできていましたし、トップ下の成井さん、右MFの片寄安さんもしっかりと守備をして、相手の攻撃を食い止めてくれました。

これでリーグ戦1位突破で、念願の決勝進出です。緊張することなく伸び伸び楽しいサッカーができると思います。

決勝戦 5/5 (火) 富士森競技場

南八王子 対 なかの 0-1 (前半0-0)

攻撃を犠牲に成井さんをゴールキーパーにするという奇策が全員に火をつけました。DF裏の広いスペースを成井さんが完璧にカバーしてくれるため、DF陣は自信を持って相手との1対1に専念できました。センターバックの田中さんを中心に、相手のエースには矢久保さんがしっかりとマークしほとんど自由にさせませんでしたし、“なかの”の分厚い攻撃も小杉さん、森さん、西條さん、気仙さんが粘り強く1対1で競り勝ち、ことごとく弾き返しました。守備のガンバリに応えたのは、攻撃陣。成井さんがいなくても、片寄姉妹、辻内さん、漆間さん、滝本さんが激しいプレスをかけて、相手のミスを誘いました。

後半、一瞬のスキにシュートを決められてしましますが、成井さんをフィールドに入れて、そこから猛反撃が始まりました。成井さんのミドルシュートやキーパーの必死のセーブに得点を阻止された25m以上のフリーキック、辻内さん/片寄優さんのドリブル突破からゴール脇に惜しくも外れたシュート、シュート、シュート・・・交代したゴールキーパー小杉さんの堅守も、みんなをどんどん前がかりにしてくれました。

決定的な場面は南八王子が3倍くらい多かったと思います。惜しくも負けはしましたが、大勢の観客や大会役員の方からたくさん拍手をもらえました。

強豪“なかの”を相手にこの善戦は大きな自信につながったと思います。

もっともっと強くなれるよ。

b y 飛田コーチ